

総論

日本の精神医学と米国DSM	大野 裕	7
DSM作成までの経緯	松本ちひろほか	12
DSM-5の日本語病名・用語について	神庭重信	17
現代精神医学のターニングポイント	古茶大樹	21
アメリカ精神医学とDSM—変化の崇拜—	黒木俊秀	26
精神病理学による補完を必要とするDSM-5	加藤 敏	32
社会精神医学におけるDSMシステム	中根 秀之ほか	40
ICD-11作成の現段階での最新動向	丸田 敏雅ほか	47

食行動障害および摂食障害群	切池信夫	139
睡眠-覚醒障害群	内山 真	147
性別違和・Gender Dysphoria	塚田 攻	155
秩序破壊的・衝動制御・素行症群	中谷陽二	159
物質関連障害および嗜癖性障害群	松本俊彦	166
神経認知障害群—アルツハイマー病による認知症または軽度認知障害を中心に—	沖村 幸ほか	173
DSM-5におけるパーソナリティ障害 —「パーソナリティ障害の代替DSM-5モデル」を中心に—	井上 弘寿ほか	180
パラフィリア障害群	針間克己	188

「臨床精神医学」2014年増刊号 Key words	194
----------------------------	-----

各論 米国DSM-5における精神疾患

発達障害から神経発達症群へ	青木悠太	55
統合失調症スペクトラム障害および他の精神病性障害群	針間博彦	61
DSM-5における双極性障害に関連した変更点と、それをめぐる諸問題について	小笠原一能ほか	70
抑うつ障害群—精神医学に何が起こったか—	本村啓介	79
不安症の主要変更事項—「広場恐怖症の独立」について—	貝谷久宣ほか	96
強迫症および関連症群	松永寿人	107
心的外傷およびストレス因関連障害群	山田貴志	114
解離症群	柴山雅俊	127
身体症状症および関連症群—身体症状症を中心に—	大江美佐里	134